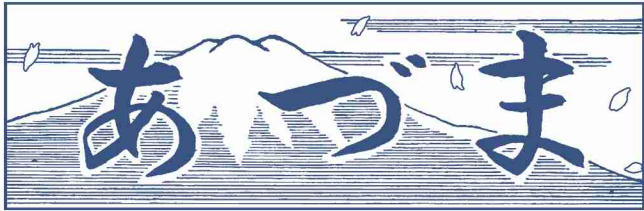


方面	05JXR	(1面)
1師団	重迫撃砲射撃競技会	(3面)
12旅団	総監初度視察	(4面)
1施設団	駐屯地・施設団記念行事	(5面)
関東補処	駐屯地・関東処記念行事	(5面)



令和5年7月25日 第1062号

総監統率方針「強靱な東部方面隊の創造」  
総監要望事項「万事作戦を基準」

陸上自衛隊東部方面隊広報誌  
発行所：方面総監部広報室  
住所：東京都練馬区大泉学園町  
専用線：8-37-2446

05JXR

# 大規模震災に備える 住民に安全・安心を届けるために



静岡県庁職員と調整する隊員



指針を示す総監

方面隊は6月26日から30日までの間、令和5年度自衛隊統合防災演習(05JXR)に参加し、南海トラフ地震対処における指揮幕僚活動を演練して、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させることに、災害対処計画の検証及び実効性の向上を図った。本演習は自衛隊が行う最大規模の統合防災演習であり、平成11年以来、今年で23回目となる。各部隊はそれぞれの駐屯地等から演習に参加し「4夜5日の一連の状況下」で南海トラフ地震対処に係る訓練を実施した。南海トラフ地震は東海地方から四国にかけての太平洋側沖合を横走するプレート境界を震源域として、これまでに100年から150年の周期で繰り返し発生しており、今後30年以内に70〜80%の確率で発生すると予想されている。今回の想定は、日向灘を震源とするマグニチュード9.1の地震が発生し、東日本から西日本にかけての広範囲の地域において地震及び津波による被害が生起するというものであった。

陸災南海東方面隊は特に甚大な被害が生じた静岡県において、第1師団、第12旅団、富士教導団及び第1空挺団を集中して応急対策活動を実施させた。さらには海災部隊等と連携し、伊豆及び小笠原諸島の離島における災害対応を実施し、災害対処計画の実効性向上の資を得た。また静岡県への方面現地調整所の実設、東京都庁への連絡員の実派遣、NTT東日本、西日本、東京電力及び中部電力との連携を強化し、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させた。方面隊は本演習の教訓事項を基に、陸災南海のみにならず海空災害部隊と共同に係る連携要領を検討する等、関係自治体、指定公共機関との連携を強化し、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させた。

## 東部方面音楽隊定期演奏会 洗練された演奏で聴衆を魅了



演奏する東部方面音楽隊

東部方面音楽隊は6月10日、和光市民文化センター「サンアセリア」において第79回定期演奏会を実施した。本演奏会は新型コロナウイルス感染症が落ち着き、音楽隊の演奏を楽しむにしていた約1200人の聴衆を招いて開催された。第1部ではG7開催国



部隊を指揮する音楽隊長



アルトサックスのソロ演奏

に関する楽曲を取り上げて演奏された。曲は今年度の吹奏楽コンクールリニア(イギリス)等、難易度の高い楽曲から一度は耳にしたことがあるクラシックの名曲である。それらを迫力あるサウンドと洗練されたアンサンブルによる吹奏楽の響きにより、聴衆を魅了した。また第2部では「Mr.インクレディブル」や「ホール・ニューワールド」といったディズニーの名曲を中心に親しみやすい曲で聴衆を楽しませた。来場した中・高校生からは「演奏上手すぎっ!」「神レベル!」との声が多くあり、SNSでは「充実していて楽しかった」等の好意的なコメントがあった。

関連 7面

力とのシステム通信に係る協同訓練、イオングループとの被害情報の共有に係る連携要領を検討する等、関係自治体、指定公共機関との連携を強化し、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させた。方面隊は本演習の教訓事項を基に、陸災南海のみにならず海空災害部隊と共同に係る連携要領を検討する等、関係自治体、指定公共機関との連携を強化し、陸災南海東方面隊としての対処能力を維持・向上させた。



イオングループと調整する隊員

## 女性のための自衛隊体験

### 女性自衛官がきびきびと働く姿を肌で実感



広報センターでの記念撮影



野外手術システムの見学

東部方面衛生隊及び総監部広報室は、6月9日・10日の両日、朝霞駐屯地において、自衛隊に接する機会が少ない女性層25人(内局公募)に対して、部隊における生活体験、装備品展示及び訓練体験を実施した。参加者は基本教練、個人用防護装備着脱、衛生科隊員との懇談、体験喫食、野外手術システム見学、一次救命処置、防災ライフバック及び担架搬送を体験し、広報センターを見学した。特に担架搬送体験では、模擬体の重さに耐え、汗だくになりながら搬送したことで、第一線救護の重要性と精神的にも体力的にも大変な任務であることを認識する貴重な機会となり、自衛隊に対する現状を理解させ、関心を高めることができた。参加者からは「女性自衛官の働きぶり、役割等たくさんを知ることができました。今後も、国防において女性の力、感性、活躍に期待しています」との感想があった。また衛生隊からは「若年隊員にとって貴重な教育機会となり、体験者への配慮・声掛けや細やかな観察等を通して指導能力が向上した」との声があった。

# 特科連隊の新編後、初 矢臼別で長距離射撃訓練



轟音を響かせたFH-70射撃



FH-70のりゅう縄射撃(安全確認のための引き網を使用した射撃)



第1級賞状を受賞した琦玉地本



第2級賞詞を受賞する琦玉地本 太田1空曹



会議で施策を説明する東京地本長

## 全国地方協力本部長等会議 琦玉地本が第1級賞状を受賞

東方管内各地方協力本部は6月20日・21日の両日、東京都市ヶ谷地区で実施された令和5年度全国地方協力本部長等会議に参加し、自衛隊埼玉地

方協力本部は第1級賞状を受賞した。表彰式においては埼玉地本が令和4年度募集・援護・予備自衛官等業務において特に顕著な成果

を収めた功績により第1級賞状を受賞した他、神奈川県、群馬地本及び新潟地本が第2級賞状を、栃木地本、東京地本及び山梨地本が陸上幕僚長褒賞した。

会議においては、中央施策について認識を共有するとともに、各地方協力本部の良好施策等について活発な意見交換が実施された。

### 受賞地本

- 【第1級賞状】
- 埼玉地本
- 【第2級賞状】
- 神奈川地本
- 群馬地本

### 優秀広報官

- 【陸上幕僚長褒賞】
- 栃木地本 中島2曹
- 千葉地本 米田2空曹
- 東京地本 藤田1曹
- 山梨地本 浅利1曹
- 長野地本 木戸2曹
- 【第2級賞状】
- 群馬地本 堀越1曹
- 埼玉地本 太田1空曹
- 神奈川地本 柚木2曹
- 新潟地本 頭師1曹
- 【陸上幕僚長褒賞】
- 新潟地本 予備自衛官等業務
- 栃木地本 募集業務
- 東京地本 募集業務
- 山梨地本 募集業務

東部方面特科連隊は5月15日から29日までの間、矢臼別演習場(北海道)において、連隊の新編後初となる中・重砲長距離射撃訓練を実施した。本訓練の実施に当たり連隊は、北富士駐屯地及び宇都宮駐屯地を出発し、大洗港、仙台港及び八戸港の3海路を経由して北海道へ渡道し、矢臼別演習場までの戦略機動を15日から19日までの間で完了させた。

実射訓練においては、前進観測班長(FO)の前進観測班長(FO)の射撃要求に応じた第1大隊(北富士)を主力とする射撃部隊が、最大約18キロメートル射撃を実施し、整齐と射撃任務を完了し、極めて有意義な訓練となった。

連隊は引き続き、東部方面隊の対地火力の骨幹部隊として、連隊一丸となり射撃練度の向上にまい進する。 関連⑥面



射弾を観測する隊員

## 恵まれた教育現場に感銘受ける オピニオンリーダー等混成団・防大研修

東部方面隊オピニオンリーダー等16人は6月7日、東部方面混成団及び防衛大を研修した。

オピニオンリーダー等は防衛大校においては、パレード等において概要説明を受けた後、第117教育大隊の教育風景を研修した。研修後、オピニオンリーダー等は、パレード訓練、概要説明、学生舎及び防衛学の授業をそれぞれ研修し、東部方面隊

及び防衛大校に対する理解を深めることができた。参加者は自衛隊の幹部自衛官を養成する学校と新隊員教育が恵まれた環境で行われていることを目の当たりにし、身内や知り合いも入校・入隊させたいと思うほどに感銘を受けていた。



天幕露営状況の見学(混成団)



教場への行進訓練の様子(防大)



自衛隊体操の見学(混成団)

# 第1師団 頭号・近衛・橘の誇りを弾先に 5年ぶり師団重迫撃砲射撃競技会

師団は5月17日から28日までの間、矢臼別演習場（北海道）において、令和5年度中・重砲長距離射撃訓練を実施した。本訓練は、師団の火力発揮において重要な役割を有する師団各普通科連隊の重迫撃砲中隊の射撃精度の維持及び向上を図り、各種事態に係る抑止及びその対処への実効性向上を図ることを目的に実施された。この際、本訓練の場を活用し、平成30年度実施以来約5年ぶりの重迫撃砲射撃競技会を実施して、必勝の信念を醸成するとともに、部隊の団結の強化及び士気の高揚を図った。

本訓練は5月17日から20日までの間、各部隊所駐屯地から矢臼別演習場への長距離機動訓練を皮切りに実施され、現地到着後から22日までの間に、同演習場における翌日からの訓練及び競技会に向けた万全の態勢を整えた。

22日、開会式において統裁官（師団長）は訓練参加部隊に対し「弾先で結果を出せ」「射撃安全管理の徹底」の2点を要望するとともに、訓示において「師団改編により野戦特科部隊が無くなった今、師団最大の火力である120mm重迫撃砲の

射撃の精度・速度が師団作戦の勝敗を決する。射撃に係る全ての努力が弾先で射撃効果として現れるため、集中して臨んでほしい。競技会の成績は射撃精度・速度、あるいは通信・測定の評価を計数化して総合的に判断するが、射撃の安全管理においてミスが犯されれば最下位とする。それは射撃を実施する以前の問題である」と血がたぎるような檄を飛ばし、隊員を鼓舞した。

23日に実施された本競技会では、120mm重迫撃砲射撃の精度と速度を競う重迫撃砲射撃の部、射撃指揮班（FD

C）から前進観測班（FQ）間の有線構成（架設及び埋設を含む）の正確・迅速さを競う有線構成の部、占領する新陣地の陣地地域測量の精度と速度を競う測量の部の3部門を総合評価して、勝敗を決定する方式で実施された。射撃部隊の砲

の全ての機能が一致団結し、必要な時期・場所に迅速かつ精度良好な火力を発揮できるかが求められる実戦に即した形式での競技会となった。各部隊は緊張感が漂う中、綿密な射撃準備及び予行を徹底して行うとともに、各級指揮官の適確な指揮・指導及び隊員一人一人が基礎動作を確行し、安全管理態勢を万全

にして「頭号（1普通連）」「近衛（32普通連）」「橘（34普通連）」の各部隊の名誉と誇りをかけて競技会に挑んだ。各部隊は火力発揮に係る全ての機能を緊密に連携させ、気迫に満ちた射撃命令・号令の確かな操作により迅速・正確な射撃を行った。競技会の結果は、各連隊とも僅差であったものの、1普通連が重迫撃砲射

撃、有線構成、測量の部の全てにおいて好成績を収め総合優勝し、見事2連覇を達成した。通信手として競技会に参加した1普通連相河士長は「初めて競技会に参加し緊張と戸惑いもあったが、訓練でやってきたことを愚直にやるという信念で挑みました。競技会の間、先輩隊員の命令・指示に必死に対応し、

有線を構成しました。その結果として優勝メダルの一員になったことを光栄に思っています。本競技会で得た自信を糧に、今後は陸曹候補生選抜試験に合格し、次は陸曹として参加したいです」と優勝の喜びと今後の抱負を語った。競技会に引き続き、24日・25日の両日、富士演習場では実施できない長距離射撃での射撃訓練を行い、その速度向上を図った。

各部隊は本訓練（競技会を含む）を通じて、重迫撃砲射撃に係る練度の維持・向上という所望の成果を収め、各種事態に係る抑止及びその対処への実効性の向上を図ることができた。師団は引き続き「創造

師団は5月16日、練馬駐屯地において総監による初度視察を受察した。慰霊碑前で師団2役、業務隊長等の出迎えを受けた総監は、第1師団司令部付隊 遠藤2曹による総監旗手申告を受け、献花した後、栄誉札及び儀じょうを受けた。儀じょうでは1師団隊で編成された布施3尉の



「One for All, All for One」全ての思いを弾先に込めて（1普通連）



宙を舞う1普通連重迫中隊長

## 第1師団の誉 隊務優秀部隊を表彰

師団は令和4年度隊務優秀部隊表彰を実施した。本表彰は部隊の士気高揚に資することを目的とし、年度を通じて部隊の訓練・服務・検査等の隊務を総合的に評価して実施される。5月15日に第1普通科連隊が、特に国家的行事における待機任務、と列

部隊任務及び在外邦人等保護措置における待機任務の完遂の功績で、また5月17日に第1特殊武器防護隊が、特に令和4年度師団訓練検閲「優良」

の獲得及び国家的行事における待機任務の功績により、それぞれ師団長より表彰された。なお1特防は2年連続での受賞となった。



連隊の部（1普通連）



部隊の部（1特防）



## 頭号師団 儀じょうで威容を発揮 富樫東部方面総監が初度視察



師団は5月16日、練馬駐屯地において総監による初度視察を受察した。慰霊碑前で師団2役、業務隊長等の出迎えを受けた総監は、第1師団司令部付隊 遠藤2曹による総監旗手申告を受け、献花した後、栄誉札及び儀じょうを受けた。儀じょうでは1師団隊で編成された布施3尉の

指揮による一糸乱れぬ儀じょう隊と野口准尉が指揮する1音が栄誉札を吹奏し、巡閲（写真右）を受けた。また1後支連及び1通大で編成された小田嶋3曹が指揮するらっば隊が、行進儀じょう（写真左）を先導し、首都防衛の要である頭号師団としての威容を総監に示した。

# 第12旅団

## 旅団の現況を報告

### 富樫総監の初度視察を受察

旅団及び相馬原駐屯地は5月29日、相馬原駐屯地及び相馬原飛行場において富樫総監による初度視察を受察した。

総監は駐屯地に到着し、旅団長及び業務隊長の迎えを受けた後、慰霊碑に献花した。続いて第12ヘリコプター隊、第12高射特科隊、第12通信隊及び第12音楽隊による栄誉礼及び儀礼ようを受けた。その後、司令部

庁舎内において、幹部挨拶、状況報告を受け、司令部地区及び飛行場地区の隊内巡視を行った。

総監は巡視終了後、駐屯地体育館において旅団隷下部隊及び駐屯地所在隊員に対して訓示し「第12旅団は陸自で唯一の空中機動力を強化された旅団として、東方区内、さらには他方面区内へ迅速な転用も期待されている。また国際緊急援助隊

の待機任務中であり、即応態勢を万全にし、任務の完遂を通じて国際社会の平和と安定及び陸上自衛隊、そして日本への信頼獲得に引き続き貢献してもらいたい。前島旅団長の統率のもと、全隊員が旅団の地位・役割を認識し『万事作戦を基準』として即応態勢の充実に、作戦遂行能力の向上、作戦基盤の充実を図り、任務遂行・隊務運営

にまい進することを期待する。相馬原駐屯地は第12旅団の活動の拠点的な役割を担う駐屯地である。相馬原駐屯地業務隊長が担任する業務は、隊員の団結・規律・士気に直接影響を及ぼす。その重要性をあらためて認識し、作戦基盤を担う責任と誇りを自覚して作戦能力の向上に努めることを

期待する(要旨)」と述べた。総監は訓示後、司令部庁舎において、本視察に尽力した各部隊の功労者に対して、一人一人に労いの言葉をかけた。

旅団は、旅団長を核として引き続き使命の完遂にまい進していく。



旅団及び相馬原所在隊員に対し訓示する総監(右)



患者をUH-60(地上設置)から卸下する衛生隊員

旅団は5月29日から6月2日までの間、相馬原演習場において第12後方支援隊長を担任官とし、令和5年度旅団衛生合同訓練を実施した。

本訓練は旅団各部隊から集まった衛生科隊員を対象とし、旅団收容所における治療及び患者管理、後送間救護、航空機への患者搭載・卸下について演練した。

旅団收容所の訓練では限定的初期外科手術、術前、術後の患者管理をそれぞれ区分して実施し、旅団收容所内において治療にあたる衛生隊員

## 各部隊の衛生能力を向上 令和5年度旅団衛生合同訓練

旅団は6月12日から7月3日までの間、相馬原演習場において第2普通科連隊長を担任官とし、令和5年度旅団狙撃事前集合訓練を実施した。

本訓練は普通科連隊の狙撃手として必要な基礎的知識及び技能を修得させるとともに、方面狙撃集合教育参加候補者の各



12音の演奏を聴く総監



各部隊の功労者を褒める総監(左)



照準眼鏡を使って距離判定を行う隊員

## 旅団狙撃事前集合訓練 名スナイパーを目指す

種検定及び練度判定を実施した。参加した隊員は、座学の他、距離判定、目標発見・識別、コンパス行進、偽装、潜入などの野外訓練を行い、射撃、各種戦闘及び戦技能力の向上を図り、狙撃手としての識能を向上させた。



【射撃検定】集中力を高め訓練成果を発揮(高田)



【戦闘訓練】最後の力を振り絞って突撃(松本)

## 自衛官候補生課程修了



【体力検定】自己記録の更新を目指し全力疾走(新町)



【25km行進】自信に満ちた表情で完歩(新発田)

## 中高吹奏楽部とジョイントコンサート Nagano Dream Festival

第12音楽隊は6月10日、長野市若里市民文化ホール(長野市)において自衛隊長野地方協力本部が主催する「ナガノドリームフェスティバル」の演奏会を支援した。

本演奏会は12音と地元中高吹奏楽部3チームによるジョイントコンサートであり、コンサートに先立ち、12音が吹奏楽部に対して楽器技術指導を行い、楽器の取り扱い、楽器毎の奏法、練習要領の指導を実施した。

コンサートは各中高吹奏楽部ごとに全日本吹奏楽コンクールの課題曲を含めた演奏を行い、その後12音も同様に課題曲2曲の他、ポピュラーで幅広いジャンルの曲を10曲披露した。(写真)

第1施設団

# 駐屯地創設69周年 団創立62周年記念行事

## 「地域とともに未来を拓く」

施設団は6月4日、古河駐屯地において古河駐屯地創設69周年及び第1施設団創立62周年記念行事を挙げる。

今年創立記念行事は新型コロナウイルス感染症対策の緩和を受け、4年ぶりに駐屯地を一般開放し執り行った。

団長は式典において「施設団は首都防衛を担う東部方面隊の施設力骨幹部隊であり、方面

施設としての使命を全うする所存「諸先輩方が築きあげてきた歴史と伝統を継承しつつ未来のために責任を果たす」と述べ、地域の理解と協力を求めた。

自治体からの理解・協力に対する敬意を表すため、隊区内の17市町旗を紹介した。

その後、観閲部隊指揮官(副団長)を先頭に、施設団隷下部隊の大型タンク等施設科部隊の特

殊車両をはじめとする車両48両、航空機1機の観閲進軍を行った。

また訓練展示では古河駐屯地隊紹介として、第101施設器材隊による橋梁架設、第337高射中隊による03式中距離地对空誘導弾の射撃準備及び第301タンク車中隊の隊員による格闘訓練展示等を実施した。

晴天に恵まれた今年の記念行事は、4071人の来場者向けに盛況のうちに終了した。



執行者 施設団長



観閲部隊



市町旗紹介



観閲行進



装備品展示パネル橋MGB

### 方面施設科職種合同訓練

### 渡河作業の練度向上

施設団は6月8日から15日までの間、北上川(宮城県石巻市)において、職種練度向上施策として、方面施設科職種合同訓練(前段)を実施した。

本訓練は第101施設器材隊が、第104施設器材隊第2施設団・船岡、第105施設器材隊(第3施設団・南恵庭)及び施設教導隊(施設学校)と協同し、浮橋の架設及



協同架設訓練



現地説明を受ける副団長(右)

自隊での練成訓練への反映事項を修得させて、方面区内各施設科部隊の渡河能力の向上を図った。

12日、副団長が訓練指導を実施し、所望の成果を獲得したことを確認した。

## 総監初度視察を受察 関東処の現況を報告



巡閲する総監



気密試験(化学防護車)の視察を行う総監(左)

関東処は6月19日、霞ヶ浦駐屯地及び朝日屯屯地において総監の初度視察を受察した。

本受察は総監に対して関東処の現況、課題等を報告するとともに、各種施設の視察を受けることにより、今後の隊務運営の資を得ることを目的として行われた。

総監は駐屯地に到着後、儀仗隊による儀



駐屯地司令に対して敬礼を行う駐屯各部隊

行われ、一部の来賓を迎えての式典となっていたが、今回はコロナ禍以前の規模に回帰し、駐屯地一般開放も実施した。

式典に先立ち行われた感謝状贈呈式では、部外協力者及び協力団体に對し、日ごろからの支援・協力が感謝の意を表し感謝状が贈呈された。

式典は荒天のためスポーツセンターで実施された。式は佐藤正久参議院議員をはじめとする国會議員、茨城県議會議員、市議會議員等多数の来賓が臨席する中で整齊と執り行われた。

司令は来賓及び観閲部隊を前に「政府が昨年12月に策定した、いわゆる『安全保障関連三文書』は、国家として新たな時代への覚悟を訴える内容



装備品を見学する来隊者

実に4年ぶりの一般開放となった霞ヶ浦駐屯地記念行事は午前中、あいにくの空模様により人影もまばらであった。午後になると晴れ間が広がり、多数の来隊者でにぎわいを見せるようになった。

来隊者は10式戦車や16式機動戦闘車等の装備品見学や、ヘリの地上滑走体験及び路上に展開された売店で買い物をするなど、思い思いの場所での記念行事を楽しみつつ、自衛隊に対する理解を深めていた。また「勤務員の対応が丁寧でよかった」「来年もまた来たい」などうれしい感想も聞かせてくれた。

### 関東補給処

## 「連携と信頼」胸に新たな一歩へ

### 霞ヶ浦駐屯地開設70周年 記念行事 関東補給処開設25周年 記念行事



式辞を述べる駐屯地司令

関東補給処長兼ねて霞ヶ浦駐屯地司令は6月3日、霞ヶ浦駐屯地において「霞ヶ浦駐屯地開設70周年及び関東補給処創立25周年記念行事」を挙行した。

昨年は規模を縮小して

であり、現場で安全保障に直接携わるわれわれには対応できない時代へ突入しているということと認識せよ。自衛隊の活動に対し基盤を付与しこれを維持する。つまりプロを要する。既存の枠組みを支えるプロとしての矜

や考え、訓練や備えでプロとしての努力を怠ってはならない(要旨)と式辞を述べた。

駐屯地所在隊員はプロの誇りを改めて確認し、新たな一歩を踏んだ。

### 霞ヶ浦駐屯地 4年ぶりの一般開放 多数の来隊者でにぎわう

霞ヶ浦駐屯地公式ホームページ  
<https://www.mod.go.jp/gsdi/eae/eadep>

Twitter  
 フォロワー募集中!!

陸上自衛隊霞ヶ浦駐屯地@公式  
 @CampKasumigaura

### 衛生隊

## ひとつ上を目指そう 緊急救命行為の練度を維持



患者の容態の確認



気道閉塞に伴う輪状甲状靱帯切開

東部方面衛生隊は6月12日から16日までの間、東部方面衛生隊「脩練館（シミュレーションラボ）」において令和5年度第1次第一線救護衛生員練度維持訓練を実施した。

本訓練は東部衛生隊長が担任して隷下各部隊、陸上総隊、大臣直轄部隊等から22人が参加し、方

面衛生隊8人が指導要員として練成及び練度判定を実施した。

第一線救護衛生員は陸上自衛隊衛生学校で実施されている特技課程「救急救命士」もしくは集合

その要領についてシナリオ訓練、練度判定を行い、全隊員の練度が維持されていることを確認した。

資格保有者は2年毎に練度判定が必要であり、救命のため自らの技能を練磨、発揮した。

衛生隊は引き続き、陸上自衛隊、方面隊の人的戦闘力維持のため「ひとつ上を目指そう」を合言葉に日々、救命について考え訓練を継続していく。

### 後支隊

## 自候生たくましく成長 それぞれの後期教育へ巣立つ

東部方面後方支援隊は3月29日から6月30日までの間、朝霞駐屯地において、第21期自衛官候補

生課程教育を担当・実施した。

本課程教育は後方支援隊として初の教育であり、



期待と不安を胸に着隊した新隊員（3月）

月に及ぶ教育任務を達成した。教育担任官高柳1佐の要望事項「挑戦と努力」「厳しさと優しさ」の下、教育隊本部、区隊一丸となり、日々熱

度の増していった。教育の集大成として、6月8日から10日にわたり、悪天候の中、東富士演習場で総合訓練を行った。訓練中、雨が続き慣れない環境に疲弊するも、自候生は一致団結し25キロメートル行進を完歩、翌日の攻撃により目標の奪取に成功した。3カ月を振り返り牧野自候生は「諦め癖があった自分でしたが、何事も諦めずに努力すれば、何でも必ずできる」と語った。

6月29日の教育修了式を終え、たくましく成長した25人の自候生は、7月1日付で北方及び東部管内の各部隊へと巣立っていった。教育隊長有井3佐は「新隊員諸官の3カ月の努力を讃えるとともに、区隊長、班長をはじめ教育隊本部並びにご支援頂いた全ての部隊、隊員の皆様に感謝致します」と振り返った。



雨天の25km行進

### 会計隊

## 21人の新隊員を受け入れ 将来を支える会計科隊員育成



編成完結式で訓示する会計隊長

東部方面会計隊は第34期新隊員後期課程「会計科」教育の教育準備を完了した。本教育は21人の新隊員に対し、東部方面会計隊副隊長を教育隊長

として、区隊長以下4人の基幹要員及び課目教官をもって7月1日から朝

霞駐屯地にて実施する。7月1日からの新隊員受入に向けて、教育基盤

の整備及び会計科隊員として必要な基礎的知識・技能を習得させるための

教授予行を実施する等、受入れ態勢に万全を期すとともに、教育者として必要な識能及び体力の向上を図った。



教育開始前のミーティング

新隊員は心身ともに社会人として発展途上であるため、教育隊は教育と並行的に社会人としての素地についても涵養を図る。そして陸上自衛隊会計科職種の将来を支える隊員として情熱と愛情をもって育成する。

### 立川駐屯地

## 寸劇により健康被害を教育 生活習慣の改善を図る

立川駐屯地医務室は6月15日、立川駐屯地において「健康教育」を実施した。

教育は駐屯地医務室実習中（産業保健実習）の防衛医科大学校看護学生が担任し、寸劇を通して

飲酒が及ぼす健康被害について隊員に分かりやすく教育を行った。また、節酒について関心を持た

教育に参加した隊員からは「非常に分かりやすかった。健康のために節酒を考えたい」という意見も出た。学生が行った寸劇は、約2週間の教育期間の合間を活用して医務室勤務者のアドバイスを受けつつ作り上げた。



寸劇による健康教育

衛生科長は「自衛官の飲酒習慣は適量を超えることが多いと思う。禁煙ばかりが問題視され、飲酒についてもっと問題視してもいいのではないかと隊員の声もある。教育を機会にお酒の上手な付き合い方について考える機会として欲しい」とコメントした。

駐屯地医務室は今後も隊員の健康をサポートし、健全な駐屯地を目指して行く。

防衛医科大学校看護学生を紹介する衛生科長

**音楽隊**

**更なる高みを目指して  
部外講師招き専門技術を向上**

東部方面音楽隊は6月13日、14日、27日の3日間、東部方面音楽隊大演

奏室において令和5年度職種等練度向上施策を実施した。



トロンボーン部外講師による指導



クラリネット部外講師による指導



音響部外講師による指導

本訓練は東部方面音楽隊長が担任官となり、東部方面音楽隊、第1音楽隊、第12音楽隊から23人が参加し、第一線で活躍する部外講師トロンボーン・今村岳志氏、クラリネット・三倉麻実氏、音響・金子雅雄氏を招へいして専門的技術の向上を図った。

「もっと繊細な表現ができるよう工夫していきたい(クラリネット)」、「作曲家の意図を表現できるように課題一つ一つに対し、丁寧に取り組んでいきたいと思います(トロンボーン)」、「生音へのこだわりを強く持ち、次回につなげたい(音響)等の所見が得られた。

引き続き、東部方面管内各音楽隊員の演奏技術及び各種実務の向上を目指し、本訓練を継続する。

**群馬地本**

**大学生と共同でステージ運営  
ファッションショーや太鼓で盛り上げる**

自衛隊群馬地方協力本部高崎地域事務所は5月20日・21日の両日、観音山ファミリアパーク2023県民参加フェス

タ(群馬県高崎市)に参加した。観音山ファミリアパークは今年で20周年を迎える記念すべき年であり、

コロナ対策が緩和されたため延べ2万6千人の来場者が訪れた。高崎地域事務所は今回も地域の大学生とともに当日のステージを運営し、本イベントを盛り上げた。

ステージの目玉企画は2つあり、1つ目は昨年も大好評であったファッションショーである。大学生が自衛隊の制服及び

戦闘服を着用してランウェイを練り歩くとともに地域の子どもたちも参加し、さらにファッションショーを大いに盛り上げた。

2つ目は担当地域にある安中総合学園高校と太鼓部による高校生らしい元気ある演奏と、松本駐屯地アルプス太鼓による自衛隊の力強い演奏の共演である。

大学生からは「制服を着用できて光栄です。自衛官の皆さんがとても親切で優しくて自衛隊のイメージが変わりました」と、高校生からは「アルプス太鼓さんとステージを共にすることができて大変勉強になりました。また、ご一緒したいです」などの声があった。

喜ばれる「安くて美味しい」献立をテーマとして実施し、三宿駐屯地「鶏のから揚げ」が優秀献立、オリジナルソース」が最優秀献立となった。

は、隊員の好みにマッチするのが難しい魚料理に挑戦し、献立のパリエーション化及び魅力化を図る。そのため隊員に喜ばれる「安くて美味しい魚料理」をテーマとし、東方管内の各駐屯地業務隊等が創意工夫した献立をもって予選(8月24日)9月29日まで、本選(12月中旬)に挑む。予選・本選結果の配信をお楽しみに!

**ある!ある!自衛隊**



ランウェイでポーズを決める大学生

**令和5年度  
東方ZEPPIINカップ!  
開催**



昨年度の最優秀献立 三宿駐屯地「鶏のから揚げ〜三宿オリジナルソース〜」



総監から褒賞を受ける三宿駐屯地栄養担当官



QRコードはこちら

令和5年度東方ZEPPIIN!カップで選出された5コ献立を東方公式ホームページにて掲載中!QRコードから確認可能なのは是非、ご利用下さい。

**訓練所感**

東部方面音楽隊  
2等陸曹 山田 貴志



第79回定期演奏会に参加して

私は6月10日、和光市民文化センター「サンアセリア」大ホールで行われた東部方面音楽隊第79回定期演奏会に参加しました。本定期演奏会は、地域住民の東部方面隊に対する

親近感の醸成による防衛基礎の育成、併せて音楽隊の演奏技術の向上と成果発表の場として行われており、最後の曲が終わった瞬間に、盛大な拍手とお客様のあふれる笑顔

で定期演奏会は大成功を収めることができたと感じました。

私は今年の3月に第11音楽隊(真駒内)から定期異動で東部方面音楽隊に配置されました。初めての東部方面隊での大きな演奏会であり、そのための強化訓練から定期演奏会を通してさまざまな事を学ぶことができました。実際に演奏について和音の構成による音楽表現や、具体的な曲の解釈等、全ての表現には根拠がありました。楽譜という設計図の中に作曲者の意図が含まれており、それを読み解き演奏することで、多くの聴衆の心に届く演奏ができるという事が分かりました。今まで漠然としていた自分の音楽表

現には説得力が無かった事を知り、大変勉強になりました。強化訓練の中では、周りの方々の演奏に対する意識の高さを感じ、自分の技量や意識の低さに自信を失うこともありましたが、しかし自分も東部方面音楽隊や東部方面隊を代表しているという事を意識して日々精進する必要性を感じました。

今後は諸先輩方や同僚、後輩の皆さんとの訓練や隊長、音楽班長の合奏訓練を通じて、学んだことをしっかりと生かし、自分の演奏に説得力を持たせ、たくさんの方に感動を届けていきたいと思いましたが、引き続き部隊に貢献できるように精進していきます。

# 最任 上級曹長

## 「意識と情熱」 関東補給処 古河支処 田村 加代子 准陸尉

関東補給処古河支処先任上級曹長の田村准尉です。コロナ禍が始まった2年3月に上番して早いもので3年が過ぎましたが、日々の出来事から「指揮官図の徹底」「隊員育成」の難しさを痛感するとともに、わが国を取り巻く環境等からさまざまな意味でもターニン



グポイントとも言える現在、その重要性を再認識しているところです。関東補給処は東方支援の他、陸自唯一の全国支援任務を保有した補給処であり、古河支処は施設器材の補給整備の中核として、任務達成のため誇りを持って組織・隊員が丸となって業務を積み重ねております。近年は劇的な情勢の変化に伴い「将来の作戦環境に対応し得る隊員の育成」のため、隊員の「意識改革」が非常に重要で

す。そのためには隊員が高い士気を維持しながら個々の能力を発揮できるため、と言葉で言うほどそんなに簡単な事ではないと思いますが、私が

陸士のころ上司・先輩等にかげられた何気ない一言が「気にかけてくれてる」とうれしかった思い出があります。普段、現場確認等で隊員と出会った時など、挨拶の他に業務以外の事で何気ない一言「課外に駆け足頑張っていたね」「ご家族の体調はどう？」等、声掛けをするようにしています。小さなきっかけから隊員の声に耳を傾け寄り添い、コツコツと諦めずに隊員の状況を把握し、支処長を的確に補佐していきけるよう一歩踏み込んだ指導を心掛けていきます。

時代は昭和・平成・令和と遷り変わりました。古河支処においても効率化の観点で新しい技術を業務に取り入れる事ができないか等の取り組みもしております。そのため「状況の変化を感じ、あらゆる任務において自ら考え行動できる」そんな意識を持った隊員が多く育つよう、これからも隊員と共に日々精進したいと考えています。

抱えていたのを、今でも覚えています。半年間の教育を終え、中隊に配置され少し経ったころ、妻と息子を上越市に呼びました。同じ新潟県内でも縁もゆかりも無い土地のため、右も左も分からず心細かったです。しかし上越で生活を始めてみると、土地柄の良さに加えて地域の人は優しく親切で、多くの方に助けていただき、この土地に溶け込むことができました。この春から息子は保育園に通い始め、自然豊かないろいろな事を経験し、少しずつですが新しい生活に慣れ始めています。最後に、家族へ「ありがとう」

# マイファミリー

## 「ありがとう」 第2普通科連隊 坂井 大介 1等陸士



第2普通科連隊本部管理中隊対戦車小隊に所属する坂井1等陸士です。家族構成は妻と今年3歳になった長男の3人家族です。私は昨年の春、自衛官候補生として高田駐屯地に入隊しました。当時、息子は2歳になる前で、家族を新潟市に残し自衛隊へ入隊する事に不安を抱えていたのを、今でも覚えています。半年間の教育を終え、中隊に配置され少し経ったころ、妻と息子を上越市に呼びました。同じ新潟県内でも縁もゆかりも無い土地のため、右も左も分からず心細かったです。しかし上越で生活を始めてみると、土地柄の良さに加えて地域の人は優しく親切で、多くの方に助けていただき、この土地に溶け込むことができました。この春から息子は保育園に通い始め、自然豊かないろいろな事を経験し、少しずつですが新しい生活に慣れ始めています。最後に、家族へ「ありがとう」

# 「進取果敢」 第1後方支援連隊 川良 みお 陸士長

143センチという小柄な私でも人命救助や災害派遣に直接役立っているのは自衛隊しかないと思いい入隊しました。

Q2・現在の職務は？  
普段は車両整備士として車両の整備・点検・検査を行っています。4月からは連隊長伝令として臨時勤務しています。車両整備とは異なる業務ですが強い気持ちで頑張っています。

Q3・自身のモットーは？  
「進取果敢」です。何事にも恐れずに前向きに行動する進取果敢の姿勢は、逆境に打ち勝ち、目標を実現するための力となるからです。私はやる気では誰にも負けないと

隊員の命をあずかる車両、特にオートバイの整備に携われるよう、頑張りたいと思います。目標に向かって躍動する川良士長のさらなる成長を期待します。

Q4・休日の過ごし方は？  
家族と一緒に買い物や食事に行ったり、高校からの友人と小旅行に出かけお互いに近況報告を楽しんでいます。1日中寝ることもあります。

Q5・今後の目標は？  
陸曹になり、一人前の整備士になることです。

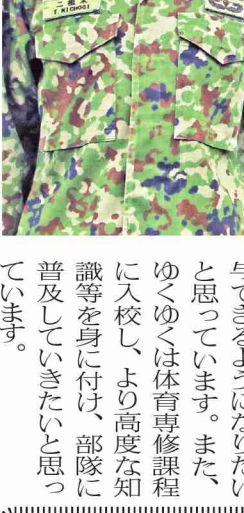
今月のフェアレディは、第1後方支援連隊第1整備大隊所属の川良みお士長です。神奈川県川崎市出身の川良士長は、音楽を聞くことやカラオケが大好きな19歳。4年4月に入隊し教育終了後、第1整備大隊に配置となり、車両整備士として訓練・支援に積極的に取り組んでいます。



Q1・自衛隊に入隊したきっかけは？  
143センチという小柄な私でも人命救助や災害派遣に直接役立っているのは自衛隊しかないと思いい入隊しました。

# 東方男児 「新隊員育成の為に」 第117教育大隊 二榎木 智也 2等陸曹

今月の東方男児は、第117教育大隊に所属する二榎木（にのえぎ）智也2曹です。神奈川県大磯町出身の二榎木2曹



は、2年3月に第1空挺団から第117教育大隊に助教として異動となり、現在は大隊本部運用訓練陸曹として日々職務に精励しています。

Q2・印象に残っている出来事は？  
原隊である第1空挺団での各種教育訓練はとて厳しく、その時を共に過ごした先輩、同期、後輩と飲むお酒の味が一味

Q3・普段の業務とその魅力はなんですか？  
普段の業務は大隊本部運用訓練陸曹として多岐にわたる業務を実施しており、昨年度体育学校で実施された一般体育課程「曹体育」を卒業し、教育大隊全体の体育訓練業務の魅力です。

Q4・今後の抱負は？  
教育において常にどのようなすれば良いかを考えるため、引き続き知識をつけ、さまざまな引き出しを作り、最善策を付与できるようにしたいと思っています。また、ゆくゆくは体育専修課程に入校し、より高度な知識等を身に付け、部隊に普及していきたいと思っています。

# 編集後記

05JXRが終わったとき、ふと当時お世話になった指揮官から指導された言葉を思い出した。「空振りには許されるが見逃しは許されない」という言葉である。

- ※【プロアクティブの原則】
- 1 疑わしいときは行動せよ
- 2 最悪事態を想定して行動せよ
- 3 空振りは許されるが見逃しは許されない